

学校だより

令和6年1月16日（火）
島原市立第一小学校 No9

「夢・あこがれ・志」

～ 実現のためには、「失敗を恐れず、挑戦し続ける」～

令和6年度が始まりました。子どもたちには、2学期の終業式で「なりたい自分を想像し、大きな目標・高い目標を立ててください。」とお願いしました。このことは、言い換えれば、子どもたちの「夢・あこがれ・志」ともいえるでしょう。

未来を担う子どもたちには、無限の可能性があると言われます。その子どもたちは、新年を迎えるにあたり、どんな「夢・あこがれ・志」を描いたのでしょうか。

そこで、3学期の始業式では、子どもたちに、次のような話をしました。

大きな目標・高い目標を達成するために大切なのは、

「失敗を恐れず、挑戦し続ける」ということです。

さて、ある童話に、桶に落ちてしまったネズミの話があります。こんなお話です。

ネズミにとって、その桶はとても大きく、よじ登って外へ出ることはできません。そこで、ネズミは自慢の歯で、桶を内側からかじって穴を開け、そこから外へ出ようと思いつきました。早速かじり始めたのですが、なかなか穴が開きません。「もっと違う所の方が柔らかくてかじりやすいかもしれません。」そう思ったネズミは、また、違う所をかじり始めました。それでも、なかなか穴が開きません。また違う所、また違う所と、たくさんの場所をかじりましたが、結局穴は開きませんでした。疲れ果てたネズミはとうとう死んでしまいました。

さて、ネズミは、目標、ここでは、桶に穴を開けることですが、目標を目指して努力しなかったのですか。いいえ、努力しましたね。では、なぜ死んでしまったのでしょうか。

それは、少し挑戦したけど、失敗を恐れて、すぐあきらめ、次の挑戦を始めたことです。

もしかしたら、失敗を恐れず、同じ場所をずっとかじっていたら、穴が開いたかもしれません。

失敗を恐れて何もしなければ、何も変わらないし成長もしません。失敗することは、決して恥ずかしいことではありません。何もしないことや失敗することを恐れることは恥ずかしいことなのです。「失敗を恐れず、挑戦し続けて」目標を達成しましょう。

同じような話として、発明王「エジソン」の次のようなエピソードがあります。

私は、蓄電池が絶対に作れない方法を2万5千通り知っている。

彼が、蓄電池を発明するために2万5千回もの失敗を繰り返したそうですが、落ち込みます、このように平然と話したそうです。そして、挑戦し続け、見事成功させたのです。

新型コロナウイルス・インフルエンザ等感染症に注意

これらに加え、溶連菌・感染性胃腸炎など感染症の流行拡大が危惧されています。そこで、今後も感染防止対策の徹底が必要です。家庭においても特に、次の3点にご留意ください。よろしくお願ひします。

- 1 体調管理を十分に行い、手洗いやうがい、手指消毒を徹底する。
- 2 微熱や咳が出るなど、体調に異常を感じたら、無理をして登校しない。
- 3 可能な限り、マスク（不織布）を着用する。